

式辞

絢爛たる春の日差しを浴びて、ものみな萌え出づる今日の良き日、ご来賓の方々、保護者の皆様のご出席のもと、第三十六回卒業証書授与式を挙げていただけますことは、この上ない喜びであります。

兵庫県立三木北高等学校を卒業される第三十六回卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの最終学年である三年生の一年間は、新型コロナウイルスの影響で、臨時休業が続き、学校行事が縮小され、部活動の大会が中止や縮小になるなど、思うように活動できない一年でした。また、進学では大学入学共通テストが混乱の内に導入され、就職においても求人が減るなど多くの困難がありました。このように先の見えない状況の中、ひたむきに努力を続け、今日の日を迎えられた卒業生の皆さん、そして、愛情を持ってその努力を支えて来られた保護者の皆様に心からの敬意を表したいと思います。卒業生の皆さんがこれからもずっと健康で幸せな人生を歩まれることを願ってやみません。

幸せな人生を送るために必要なものはなんでしょう。それは「仕事」と「友達」であると思います。仕事があって、友達がいれば、人生なんとかなります。けれども友達は人の一生のどの時期にでも、つくれるものではありません。年齢が上がるほど友達はできにくくなります。

もちろん、職場での友達や、将来子どもを持った人はPTA活動を通しての友達などで、すばらしい友達に出会うこともあります。ただ、職場では会社名や係長、班長などの役職や肩書きがついてきます。PTAでは〇〇さんのお父さん、お母さんという立場がついてきます。その時の役職や立場を踏まえての友達ということになります。ですから肩書きや立場が変わったり、失ったりしたとき、友情を続けることが難しくなる場合があります。

けれども、今の皆さんのように、まだ何者でもない学生時代の友達は、肩書きや立場が変わっても、皆さんがその肩書きや立場にこだわらなければ、ずっと友達でいることができます。会った瞬間に何者でもなかったころの自分に戻って、友達づきあいをすることができるのです。学生時代の友達は、得がたい宝物のような存在です。皆さんにはその友情をずっと大切に保ち続けてほしい

と思います。

では、友情を長続きさせるのに必要なものはなんでしょう。

ドイツの哲学者カントは「友情とは、二個の人格が互いにひとしく愛し合い尊敬し合うことによって、一つに結びつくことである。」と定義し、「愛」とは「引力」であり、「尊敬」とは「斥力」であると言っています。カントは友情には「引力」という互いに引き合う力と「斥力」という互いを遠ざけようとする力の両方が必要であると述べていますが、「引力」と「斥力」は真逆の力です。

例えば皆さんにとっても気の合う友達がいる、ずっと一緒にいたいと思っていたとします。けれども「愛」という引き合う力だけで友情は長続きしません。愛だけでは、馴れ合いになったり、友達を自分と全く同じ考えを持つ人間であるかのように思ったりして、わがままになりすぎ、友情を壊してしまうからです。友情を保つには「尊敬」という斥力、遠ざける力が必要です。尊敬する人には、馴れ馴れしくしすぎたり、度を越えたわがまを言ったりできません。自分との間に少し距離ができます。その距離が友情を長続きさせるのです。太陽と地球が、地球と月が、引力と、遠心力という斥力によって、絶妙な距離を保ちながら一緒にいるように。

今日本校を卒業してしまえば、毎日のように顔を合わせていた友達とも、これまでのように会うことはできません。けれども、会えなくても友情は続きます。友達が、魅力的で、素敵な大人になっていくのはとてもうれしいものです。そんな友達を誇りに思い、自分も頑張ろうという気持ちになります。

皆さんは、遠くから応援してくれている友達がいることを忘れずに、何年経っても、友達から愛され、尊敬される人であるように努めてください。

皆さんが友達とともに幸せを分かち合い、困難を乗り越え、実り多い人生を歩まれることを願っています。

2021年3月1日

兵庫県立三木北高等学校

校長 吉田 尚美